

ASUS AI Suite II

ASUS AI Suite では各種ASUSユーティリティを簡単に起動することができます。

AI Suite をインストールする

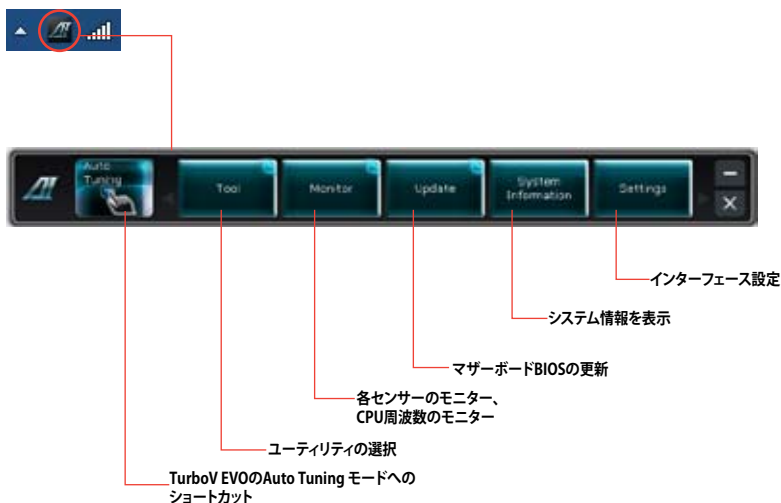
手順

1. サポートDVDを光学ドライブに入れます。OSの自動再生機能(Autorun)が有効になっていれば、ドライバインストールウィンドウが表示されます。
2. 「Utilities」タブ→「AI Suite II」の順にクリックします。
3. 画面の指示に従ってインストールを完了させます。

AI Suite を使う

AI Suite II はWindows®OSを起動すると、自動的に起動し、AI Suite II アイコンがWindows® のタスクトレイに表示されます。このアイコンをクリックすると、AI Suite II メインメニューバーが表示されます。

使用するユーティリティのボタンをクリックし起動します。システムのモニター、マザーボード BIOS の更新、システム情報の表示、AI Suite II のカスタマイズ設定等がご利用いただけます。



- **Auto Tuning** ボタンが表示されるのは、TurboV EVO機能搭載モデルのみです。
- Tool メニュー上のアプリケーションは、モデルにより異なります。
- 本マニュアルに記載の図は参考用です。実際とは異なる場合があります。
- ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSのWebサイトをご参照ください。(http://www.asus.co.jp)

DIGI+ VRM

ASUS DIGI+ VRMは、VRM電圧とCPUの周波数を調節し、安定性を強化します。また、非常に優れた電力効率を実現し、発生する熱を最小限に抑えますので、コンポーネントの寿命を延ばし、電力消費を抑えます。

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーの「Tool」→「DIGI+ VRM」の順にクリックします。



機能No.	説明
1	DIGI+ VRM Load-line Calibration 高いロードラインキャリブレーションにより、電圧を上げ、より良いオーバークロック性能を実現します。ただし、CPUとVRMからの発生熱量は増加します。
2	DIGI+ VRM CPU Current Capability オーバークロック用に電力の設定範囲を広げます。設定値を上げることで、より高いVRM電力を設定することが可能になります。
3	DIGI+ VRM Frequency 周波数を切り替えることで、VRM過度応答とコンポーネントの放熱システムを調節します。周波数を高く設定すると、過度応答が速くなります。
4	DIGI+ VRM Phase Control システム負荷が大きい環境でフェーズ数を増やすと、過度応答と放熱システムが向上します。システム負荷が小さい環境でフェーズ数を減らすと、VRM効率が上がります。
5	DIGI+ VRM Duty Control 各VRMフェーズの電流、各フェーズコンポーネントの放熱システムを調節します。



- 実際のパフォーマンスはお使いのCPUの仕様により異なります。
- サーマルモジュールを取り外さないでください。放熱システムはモニターする必要があります。

BT GO!

BT GO! はBluetooth デバイスを Bluetooth 接続でマザーボードに接続し、ファイル転送、ファイルの同期、音楽の再生、個人設定、遠隔操作等をアシストするツールです。

BT GO! を起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーの「**Tool**」→「**BT GO!**」の順にクリックします。

BT GO! を使用する



- と■をクリックし、デバイスリストと機能リストをスクロールします。
- 任意のデバイスアイコンをクリックし、BTデバイスに選択します。BT GO! は選択したデバイスのサポートする機能を自動的に検索します。
- 任意のデバイスアイコン/機能アイコンをクリックし、選択したデバイスを接続し、選択した機能の有効/無効を設定します。

各機能

Shot & Send: スクリーンショットを撮り、接続したBTデバイスに転送します。

BT Transfer: ホストBTデバイスに保存したファイルを接続したBTデバイスと共有します。

Folder Sync: 選択したフォルダーを、選択したBTデバイスとコンピューターとの間で同期/バックアップします。

Personal Manager: 個人連絡先とカレンダー情報を、BTデバイスとシステムの間で同期します。

BT to Net: BTデバイスで共有するネットワークを経由して、インターネットにアクセスします。

Music Player: BTデバイス内の選択した音楽ファイルをコンピューターのスピーカーで再生します。

BT Turbo Remote: 使いやすいインターフェースでBT接続を使用して、スマートフォンをリモコンとして機能させ、**BT Turbo Key**、**Pocket Media**、**Reset/Off** 機能等の操作を行います。



デザリング機能をサポートしていないデバイスやスマートフォンの場合、一部機能をご利用いただけない可能性があります。予めご了承ください。

TurboV EVO

ASUS TurboV EVOには、CPU周波数と関連する電圧値を調節できる**TurboV**機能、オーバークロックとシステムのレベルアップが自動的にできる**Auto Tuning**機能が搭載されています。AI Suite IIをサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「**Tool**」→「**TurboV EVO**」の順にクリックし、TurboV EVOを起動します。

TurboV

ASUS TurboVは、ベースクロック周波数、CPU電圧、IMC電圧、DRAM / バス電圧をWindows 環境で調整することができるツールです。設定変更はすぐに適用されます。



CPU電圧の調節を行う前にCPUに付属の説明書や仕様書等を必ずご確認ください。設定値が高すぎるとCPUの損傷、低すぎるとシステム不安定の原因となることがあります。



システム安定のため、ASUS TurboVで行った設定変更はBIOSには保存されず、次回起動する際にも適用されません。設定変更後のオーバークロック設定を保存するには、「Save Profile」機能で設定をプロファイルとして保存し、Windows の起動後にそのプロファイルを手動でロードしてください。



より効果的にオーバークロック設定を行うには、まずBIOS項目の設定変更を行い、その後TurboVで微調整を行うことをお勧めします。

Advanced モードを使用する

「More Settings」→「Advanced Mode」タブをクリックし、電圧の詳細設定を行います。



GPU Boost

GPU Boost は統合型 iGPU をオーバークロックし、最高のグラフィックパフォーマンスを実現します。

1. 「More Settings」→「GPU Boost」タブの順にクリックします。
2. iGPU エンジンクロックと iGPU 電圧を調節します。変更を適用するには、表示される確認メッセージで「Yes」をクリックし、システムを再起動します。



GPU Boost は特定モデルのみの搭載です。

CPU Ratio

手でCPU倍率を調節します。



この機能を初めて使用される場合は、BIOS Setup ユーティリティで「**AI Tweaker**」→「**CPU Power Management**」で「**Turbo Ratio**」の項目を [Maximum Turbo Ratio setting in OS] にするか、CPU Ratio 機能画面のONボタンをクリックしてCPU Ratio を有効にしてください。

1. 「**More Settings**」→「**CPU Ratio**」タブの順にクリックします。
2. ONボタンをクリックし、CPU Ratio 機能を有効にします。
3. 変更を適用するには、表示される確認メッセージで「**Yes**」をクリックし、システムを再起動します。



4. 調節バーを上下に移動させ、数値を設定します。



- TurboV のCPU Ratio 機能を使用する前に BIOS Setup ユーティリティで「**CPU Ratio Setting**」の項目を [Auto] にしてください。詳細はユーザーマニュアルの Chapter 3 をご参照ください。
- CPU Ratio の調節バーにはCPUコアの状態が表示されますが、表示内容はCPUのモデルにより異なります。

Auto Tuning

ASUS TurboV EVO には便利な 2 つの自動調節モードがあります。



- オープークロックの効果は、CPUモデルとシステム構成により異なります。
- オーバーヒートによるマザーボードの故障を防ぐため、冷却システムの増強を強くお勧めします。

- **Fast Tuning:** CPUをオーバークロック
- **Extreme Tuning:** CPUとメモリーをオーバークロック

Fast Tuning

1. 「**Auto Tuning**」タブをクリックし、「**Fast**」をクリックします。
2. 警告メッセージを確認後、「**OK**」をクリックします。続いて自動オーバークロックが始まります。



3. TurboVは自動的にCPUをオーバークロックし、BIOS設定を保存し、システムを再起動します。Windows が起動すると、作業完了メッセージが表示されますので、「**OK**」をクリックし設定を終了します。



Extreme Tuning

1. 「**Auto Tuning**」タブ→「**Extreme**」の順にクリックします。
2. 警告メッセージを読んだ後、「**OK**」をクリックします。続いて自動オーバークロックが始まります。



3. TurboVは自動的にCPUとメモリーをオーバークロックし、システムを再起動します。Windows が起動すると、現在のオーバークロックの結果が表示されます。この結果をキープするには「**Stop**」をクリックします。



4. 「**Stop**」を選択しなかった場合、TurboVは自動的に更なるシステムオーバークロック設定と安定性のテストを実行し、オーバークロックの経過を示す画面が表示されます。オーバークロック作業をキャンセルするには、「**Stop**」をクリックします。



5. TurboVは自動的に調節を行い、BIOS設定を保存し、システムを再起動します。自動オーバークロックが完了し、Windows が起動すると、作業完了メッセージが表示されますので、「**OK**」をクリックし設定を終了します。



EPU

EPUは電力管理をアシストするツールで、システムの多様な電力要求に応えます。このユーティリティには複数のモードがあり、システム電源を抑えることができます。「Auto」を選択するとシステムの状態に応じてモードを自動的に選択します。また、各モードは詳細設定も可能で、CPU周波数やGPU周波数、vCore 電圧、ファンコントロール等の設定が可能です。

EPUを起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーの「Tool」→「EPU」の順にクリックします。



- * 「From EPU Installation」を選択すると、EPUをインストールした時点からのCO2削減量が表示されます。
- * 「From the Last Reset」を選択すると、「Clear」ボタンをクリックしてからCO2削減量が表示されます。

FAN Xpert

ASUS Fan Xpert は、システムの負荷と環境温度に応じて、効果的にCPUファンとケースファンのスピードを調節することができます。予め設定されたオプションから設定を選択することにより、ファンスピードを臨機応変にコントロールすることができます。

FAN Xpert を起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーの「Tool」→「Fan Xpert」の順にクリックします。

FAN Xpert を使用する

「Fan Name」の項目でファンを選択し、「Setting」の項目で予め設定されたモードを選択します。



ファンの設定

- **Disable:** Fan Xpert 機能を無効にします。
- **Standard:** 標準的なファンスピードに設定します。
- **Silent:** ファンスピードを最低限に抑え、ノイズの低減を優先させます。
- **Turbo:** ファンスピードを最大にし、冷却を優先させます。
- **Intelligent:** CPUファンスピードを環境温度に応じて自動調整します。
- **Stable:** CPUファンスピードを一定に保ち、スピードの切り替えによるノイズを抑えます。ただし、温度が70°Cを超えた場合は、ファンのスピードを自動的に加速します。
- **User:** プロファイルをユーザー定義します。

Probe II

PC Probe II は、重要なコンピューターのコンポーネントを監視し、問題が検出されると警告するユーティリティです。ファン回転数、CPU温度、システム電圧を中心に監視します。このユーティリティで、コンピューターをいつでも正常に動作させることができます。

Probe IIを起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーの「Tool」→「Probe II」の順にクリックします。

Probe IIの設定

Voltage/Temperature/Fan Speedタブのいずれかをクリックし、センサーを有効にして、センサーのしきい値を設定します。**Preference** タブでは警告センサーの間隔のカスタマイズ、温度単位の変更が可能です。



Sensor Recorder

Sensor Recorder はシステム電圧、温度、ファンスピードの変化をモニターし、記録するツールです。

Sensor Recorder を起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーの「Tool」→「Sensor Recorder」の順にクリックします。

Sensor Recorder の設定

Voltage/Temperature/Fan Speed タブを選択し、モニターするセンサーを選択します。**History Record** タブでは、有効にしたセンサーの変化を記録することができます。



Monitor

Sensor と CPU Frequency の 2 つのパネルがあります。



Sensor

ファン回転数、CPU温度、電圧等のシステムセンサーの現在値を表示します。AI Suite II メインメニューバーの「Monitor」→「Sensor」をクリックし、Sensor パネルを開きます。

CPU Frequency

現在のCPU周波数、CPU使用状況を表示します。AI Suite II メインメニューバーの「Monitor」→「CPU Frequency」をクリックし、CPU Frequency パネルを開きます。

右画面 (システム情報)



Sensor パネル



CPU Frequency パネル



System Information

マザーボード、CPU、メモリスロットの情報を表示します。

- MB**タブをクリックすると、マザーボード製造元、製品名、バージョン、BIOS等の詳細情報を表示します。



- CPU**タブをクリックすると、プロセッサ、キャッシュ等の詳細情報を表示します。



- SPD**タブをクリックし、メモリスロットを選択すると、そのスロットに取り付けたメモリの詳細情報を表示します。

